



【二戸地区広域商工観光推進協議会】物産展等出展経費助成金の受付開始について
(二戸地域振興センター)

二戸地区広域商工観光推進協議会（事務局：二戸地域振興センター）では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける事業者を支援すること及び二戸地域の特産品の認知度向上や販路拡大を図ることを目的として、二戸地域の事業者が物産展や各種イベント等に出展する際の経費の一部を助成することとしました。

つきましては、本制度の周知について御協力よろしくお願いいたします。

1 助成対象者

以下の要件に該当し、物産展や各種イベント等に出展する事業者

- ・ 事業者…二戸地域（二戸市、軽米町、九戸村及び一戸町）に主たる事業所を設置し商業又は観光産業を営む個人、法人又は団体
- ・ 物産展等…物産展、展示会、見本市、各種イベント、その他これらに類するもの。

2 助成対象経費

物産展等出展経費のうち、出展料、旅費、感染症対策に係る経費、食品提供諸経費等

3 助成金の額

対象経費の5分の4以内で上限5万円（62,500円以上の事業費の場合、最大5万円を助成）。1事業者につき1回のみ申請可能。

4 補助対象期間

令和2年11月1日（日）から令和3年3月15日（月）までの期間に行われる物産展等が対象。

5 申請受付期間

令和3年3月1日（月）17時まで

※予算上限に達し次第終了。出展の1週間前までに申請書を提出すること。

6 問い合わせ・書類提出先

二戸地区広域商工観光推進協議会事務局（TEL:23-9205）

（県北広域振興局二戸地域振興センター地域振興課内）

担当：二戸地区広域商工観光推進協議会
（二戸地域振興センター地域振興課内）
地域振興課長 清川、主事 田澤
電話：0195-23-9205 内線 209

県政記者クラブ 各位

令和2年11月13日
商工労働観光部 定住推進・雇用労働室

「第2回北いわて産業技術人材育成強化構想検討会議」の開催について

- 標記の会議を、11月20日（金）午後1時45分から二戸地域職業センターにおいて開催します。
- 本会議は、県北圏域をはじめとする北いわてにおける地域の未来を担う人材の育成のために、地域の関係機関等から御意見を頂戴し、県北地域の産業技術人材の育成の強化や職業能力開発の在り方について検討することを目的とします。
- 開催にあたって、当日の取材対応について、よろしくお願ひします。

1 概要

- (1) 日時 令和2年11月20日（金）午後1時45分から午後4時まで
- (2) 会場 二戸地域職業訓練センター
(二戸市米沢字荒谷 76-2 電話 0195-23-3040)
- (3) 委員 別紙名簿参照
- (4) 実施回数 本会議を含め、3回の会議(第1回・8月28日実施、第3回・1月)を予定

2 目的

いわて県民計画(2019~2028)の「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」において、県北圏域をはじめとする北いわてにおける地域の未来を担う人材の育成のために取り組んでいる。この取組の一環として、地域の関係機関等から意見を伺い、県北地域の産業技術人材の育成の強化や職業能力開発の在り方について検討を行うもの。

3 検討事項

- (1) 北いわての未来を担う人材とその育成の在り方
- (2) 職業能力開発施設の今後の役割と目指すべき姿

【担当：労働課長 金野、主査 佐藤 電話 019-629-5582】



❖ 県北広域振興局

報道機関への情報提供 (2020/11/17)

県北広域振興局

令和2年度県北広域振興圏行政連絡協議会の開催について

(二戸地域振興センター)

県北広域振興局及び県北広域振興圏各市町村の重点施策等の情報共有と意見交換を目的として、標記会議を次のとおり開催します。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、今回は、二戸地区合同庁舎（久慈地区合同庁舎）と各市町村庁舎の間をオンラインで結び開催します。

1 日時

令和2年11月19日（木） 10時から11時30分まで

2 場所

二戸地区合同庁舎（1階大会議室）及び各市町村庁舎

3 主催

県北広域振興局

4 議題

- (1) 地域振興プランの令和2年度推進状況及び令和3年度の推進の方向性
- (2) その他

5 出席予定者

【構成員】 県北広域振興圏の市町村長、県北広域振興局（局長、副局長、技監、各部室等の長）及び県北教務所長

【オブザーバー】 宮古・下閉伊、久慈、二戸及び九戸選挙区選出県議会議員

担当：二戸地域振興センター地域振興課
地域振興課長 清川 主事 久慈
電話：0195-23-9205 内線 202、203

令和2年11月18日

コロナ禍に負けるな！県下でTori（鶏）組み・天下（世界）へ飛ばたく！
いわての新たな食文化発信プロジェクト 第三弾 「**巖手とりから給食の日**」

地域経済の再生と新たな食文化の創造をめざし、岩手県を代表する地域資源である「鶏肉」と岩手の伝統食である「南部せんべい」を融合させた「**巖手とりから**」が、この度、学校給食のメニューとして採用されました。

二戸市内の小学校で、給食の提供及び生産者との交流イベントを開催し、地域の産業や食文化への理解を深める機会とします。是非取材くださいますようお願いいたします。

記

1 日 時

令和2年11月25日（水）12：10～13：00 ※2（二）5（戸）食の日

2 場 所

二戸市立御返地小学校 〒028-6723 岩手県二戸市安比上大築平7-2 (Tel:0195-26-2114)

3 出席者

株式会社阿部 ^{はんこう} 繁孝商店	代表取締役社長	阿部 繁之	(あべ しげゆき)
株式会社小松製菓	代表取締役社長	小松 豊	(こまつ ゆたか)
有限会社山長 ^{やまちょう} ミート	代表取締役社長	槻木 光夫	(つきのき みつお)
二戸市	市長	藤原 淳	(ふじわら じゅん)
二戸市教育委員会	教育長	鳩岡 矩雄	(はとおか のりお)
県北広域振興局	副局長	松本 淳	(まつもと じゅん)

4 内 容

- (1) 生産者による出前授業（3・4学年の児童を対象）
「巖手とりから」ができるまで（プロジェクトの経緯と想い）
- (2) 「巖手とりから」給食の提供
 - ① 本日のメインメニュー「巖手とりから」の紹介
 - ② サプライズゲスト登場（九戸村 キングオブチキン）
 - ③ 児童と出席者が給食実食
- (3) 感想・応援メッセージ
 - ① 児童代表（2名程度 感想）
 - ② 二戸市長、二戸市教育長、県北広域振興局副局長（応援メッセージ）



5 給食提供食数

二戸市内の小学校：7校、中学校：3校、特別支援学校3校
総提供食数 計1,980食（うちとりから：約100kg）



【担当】岩手県県北広域振興局経営企画部
二戸地域振興センター地域振興課
課長兼交流連携特命課長 清川 勝
電話 0195-23-9205
【商品のお問合せ】株式会社小松製菓
執行役員 青谷 耕成
電話 0195-23-4315（代表）

1 趣旨

人口減少が進み経済活動や地域社会への影響が深刻化する中、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による景気の低迷が追い打ちをかけています。二戸地域では、地方創生のカギとなる交流人口の拡大、地場産業の経営革新・拡大の展開モデルとして、岩手県を代表する**地域資源**である「鶏肉」と岩手の**伝統食**である「南部せんべい」を融合させた**商品開発**及びプロモーション戦略を展開することにより、新たな“**マーケットの創造**”と“**いわての『食文化』**”としての展開を目指します。同時に、異業種の歴史、生育環境、技術を合わせた二戸型テロワールを実現します。

2 現状・背景

- ✓岩手県及び二戸地域の農業及び産業の主幹はチキン産業であり、岩手県のチキン生産量は全国3位（農林水産省平成30年生産農業所得統計（都道府県別）、二戸市の農業算出額は全国の自治体で2位（農林水産省平成30年市町村別農業産出額（推計））を誇る。一方で、鶏肉の一人当たり年間消費量は全国平均を下回り、下位の状況（令和元年総務省家計調査）。
- ✓鶏肉市場は、毎年伸長傾向だが、生産者の高齢化や担い手不足、チキン関連企業における労働力不足が続いている状況。
- ✓コロナ禍の外食事業の低迷と観光客の減少を受け、南部煎餅の消費量（市場規模）は減少傾向。

3 取組内容

岩手県を代表する地域資源である「鶏肉」と岩手の伝統食である「南部せんべい」を融合させた鶏の唐揚「**巖手とりから**」を、**学校給食**で児童・生徒に提供することにより、**地域の産業や食文化への理解を深めるとともに、食でふるさとを応援する心を醸成**します。

4 取組のねらい

- (1) 県内(市内)の鶏肉消費量の増大 ⇒ 外食店・量販店（惣菜）利用 ⇒ **地域経済効果**
- (2) 新しい「食」の観光資源化の展開 ⇒ 岩手県の新食文化に（県下展開） ⇒ **外貨獲得**
- (3) 新食文化を通じて地域産業への**理解の増進** ⇒ チキン産業や食産業への興味関心 ⇒ **担い手・労働力確保**

5 取組経過

- ・2017年10月 トリコロールフェスタと共催で行われた「とり合戦」において、刻んだ南部煎餅を衣にした鶏のから揚げの試食アンケートを実施。（4種類）
- ・2018年9月 2018 恵比寿麦酒祭り復興応援マルシェにて、100名に無料配布・アンケートを実施。（2017年のアンケートで一番人気だった胡麻せんべいを衣にしたから揚げ）
- ・2019年3月 県地域経営推進費を活用し、四季の里にて「鶏から飯」をメニュー化。期間限定販売を実施。（販売期間：2019/3/19～6/19）【**プロジェクト第一弾**】
- ・2020年7月 外食店や量販店、学校給食等において、簡単調理で利用いただける「巖手とりから」を商品化。（2020/7/17 発表会）【**プロジェクト第二弾**】

報道機関への情報提供（2020/11/19）

県北広域振興局

令和2年度建設工事統計調査関係者表彰に係る感謝状の伝達について

(土木部)

- 1 日時 令和2年11月26日（木） 午後1時30分から
- 2 場所 局長室
- 3 主催 県北広域振興局土木部
- 4 対象 株式会社小山組（こやまぐみ）（久慈市）
- 5 内容

(1) 建設工事及び建築工事に関する基幹統計調査の実施に関し、その功績が顕著な団体について、県内では、株式会社小山組の1社が国土交通大臣から感謝状が贈呈されることとなりました。

つきましては、上記のとおり感謝状伝達式を行いますのでお知らせいたします。

(2) 事績の概要

建設工事統計調査の趣旨をよく理解し、多年にわたり建設工事受注動態統計調査に協力して他の模範となる正確かつ迅速な報告に努めました。

また、統計調査の他にも、建設業許可に係る届出を遅滞なく提出しており、会社としては国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所から工事無事故の完成の感謝状を受賞しています。

(3) 制度の概要

基幹統計調査のうち、建設工事受注動態調査は、統計法に基づいた調査で、全国約1万2千の建設業者の方々（岩手県内では約200社）を対象とした月次調査です。

本調査において、国土交通省では、表彰候補者推薦要領に基づき、令和元年度から遡り調査対象となって連続した3年度（36回分）の調査票を提出した業者であって、調査票を期限内に提出しかつ内容が正確であること、社会的責任を十分自覚していることを基準に表彰するものです。

担当：土木部管理課長 中家 武雄
電話：0194-53-4990 内線 259

報道機関 各位

職業訓練法人 二戸職業訓練協会

岩手県建築大工の聖地へ 技能五輪全国大会 金賞

二戸市の二戸職業訓練協会(会長大沢孫蔵 会員数 241)では 11 月 13 日から愛知県で開催された第 58 回技能五輪全国大会の建築大工の部へ会員事業所から 3 名の選手を派遣。青森県田子町の有限会社日沢建設所属の多田知弘(遠野市出身)が見事金メダルを受賞。国際大会※への切符を手にししました。同じく出場した盛岡市の有限会社空創舎の佐々木僚介(岩泉町出身)、一戸町の有限会社東山建設の新谷龍太(久慈市出身)の 2 名が銅メダルを受賞。大会は全国から 944 名、建築大工の部には個人競技としては最多の 53 名の選手が参加しました。

3 人は県内各地から岩手県立二戸高等技術専門校建築科へ入校、修了後、技能五輪全国大会の出場を視野に二戸職業訓練協会の会員事業所に就職。日々の仕事をこなしながら、定期的に訓練をおこなってきました。

二戸職業訓練協会は昭和 45 年、第 8 回大会より技能五輪全国大会の建築大工の部に岩手県代表として選手を派遣し続け、毎年のように入賞者を輩出。これまで銀メダルまでは獲得するものの、金メダルは初めての受賞となりました。

同会における指導は、やはり自身が技能五輪全国大会出場経験のある中村佐市氏(同会専任指導員：一戸町)が中心となって、岩手県立二戸高等技術専門校との連携により選手の育成をおこなっており、例年、技能五輪全国大会に向けて、県内外より指導を仰ぐ選手、企業が訪れます。

県内では建築大工を養成する施工系の訓練機関は県立で二戸のみとなっており、同会のように県が認定する団体 14 団体が養成を行っています。同会は、県内における優秀な建築大工育成の聖地とすべく訓練に取り組んでいます。

(メダル・賞状の伝達は閉会式がオンラインでの開催のため 12 月中旬の予定)

【技能五輪全国大会】

国内の青年技能者（原則 23 歳以下）を対象に、技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えると同時に、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性や必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資することを目的として実施する大会。なお、技能五輪国際大会が開催される前の年の大会は、技能五輪国際大会において競技の実施が見込まれる関連職種に係る選手の選考を兼ねています。（中央職業能力開発協会）

<https://www.javada.or.jp/>

※<技能五輪国際大会>

2021 年 9 月開催予定だった中国上海で開催予定の第 46 回同大会は 1 年延期が決定、現在のところ 2022 年 10 月～11 月の開催が予定されています

【この件に関するお問い合わせ】

職業訓練法人 二戸職業訓練協会

事務局長 馬淵 貴尋

〒028-6104 岩手県二戸市米沢字荒谷 76-2

二戸地域職業訓練センター

TEL 0195-23-3040・FAX 0195-23-3174

<http://www.ninohe-vtc.ac.jp>

E-mail:mabuchi@ninohe-vtc.ac.jp



✧ 県北広域振興局

報道機関への情報提供 (2020/11/24)

県北広域振興局

「いわて女性活躍企業等認定」認定書交付式の開催について

(二戸地域振興センター)

11月16日(月)、山善鉄工建設株式会社が「いわて女性活躍企業等認定」に認定され、下記により認定書交付式を開催しますので、御取材いただくようお願いいたします。

県北広域振興局では、アパレルや食産業など女性就労者の比率が高い企業が多いことから、「いわて女性活躍企業等認定制度」の一層の活用・認定を通じて、女性の就労環境や子育て環境の整備を促進していくこととしております。

○ 「いわて女性活躍企業等認定」認定書交付式

1 日時

令和2年11月26日(木) 10時30分から11時00分まで(予定)

2 場所

二戸地区合同庁舎 4階 副局長室(二戸市石切所字荷渡6-3)

3 認定企業等

山善鉄工建設株式会社(認定日:令和2年11月16日、認定区分:ステップ1)

◆ いわて女性活躍企業等認定制度(概要)

(1) 目的

女性の活躍推進に積極的に取り組む県内企業等を知事が認定し、その取組を広く公表することにより、企業等の自主的な取組の促進を図り、県内企業等における女性活躍の一層の促進を図る。

(2) 対象

岩手県に本社または主たる事業所を置く企業、個人、法人及び団体

(3) 認定数

令和2年11月20日現在 **187件**(うち、**県北局管内:28件**)

担当:二戸地域振興センター地域振興課
地域振興課長 清川 主査 中村
電話:0195-23-9205 内線202、220